

100年経営の会 長寿企業イノベーション勉強会

モノづくり長寿企業に学ぶ「持続可能な経営モデル」とは

講演 梅花堂紙業 社長 佐野 博政 氏



1923年創業。食品パッケージから始まり、今や自動車・電車・航空機部品の機能性パッケージなどを扱う。段ボール業界は需要が伸びているが、加工中心の中小企業市場は縮小傾向。そこでデリバリー、クオリティ、コストの順で強みの強化に取り組んだ。

最大の得意先が近隣という立地を生かし、注文から納品までの2時間サイクルを実現。他社ができないことを可能にするこ

独自ブランドで成長を目指す

とて質を高めていった。強みをさらに生かすには、経営者の成長が必要。そう考え

て、猛勉強し、経営者修士(MBA)取得などを取得。メガバンクの私算債を発行し、設備に投資した。こうして可能性が広がる若い人材が集まり、新商品開発や大手顧客のプロジェク

技術革新、事業継続の基礎に



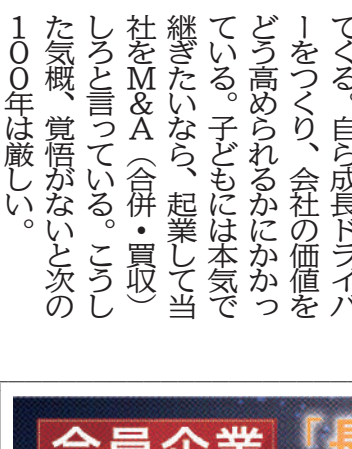
祖父が横濱で開業した貸船業が始まりで、創業115年目になる。事業変遷は幾多あったが、中心は給水・排水設備など水に関わる事業だ。私が引き継いで40年になるが、当初は7割の売上を占めていた浄化槽関連が年々、前年度比20%ずつ減るという状況。そのため、どう事業を変えていくかが常に課題だった。その後、少しずつ業務転換を進め、現在は傘下企業3社でグループ化している。現在、息子らへの承継の最中だ。

「信用」が事業継続の最大要因



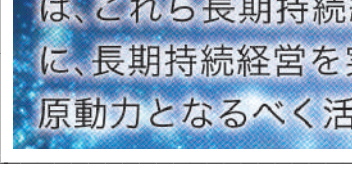
また、長寿企業の約8割は家訓や社是など企業理念を制定している。これが精神的支柱となつて経営方針の根幹を成している。半数

座談会



佐野 4代目になるが、世襲でない代もあつて理念は残っていない。代表になるタイミングで理念をつくり、ビジネスより姿勢の面を強く押し出し「勇気・熱意・感謝で、感動を追求する」と掲げた。苦しくても一歩前に進む勇氣、そして熱意を持つてチャレンジする。サプライヤーや協力会社などの力があつてこ

出席者



梅花堂紙業 社長 佐野 博政 氏
ティーケイケイHD 社長 田尻 恵保 氏
コーディネーター
帝国データバンク 参与 昌木 裕司 氏

基調講演

データ分析によつて長寿企業の特徴を明らかにしてきた。日本の長寿企業の数

データで見えた長寿企業の条件

企業の特徴を明らかにしてきた。日本の長寿企業の数

三方よし 長寿企業の原点

上場企業は今、コーポレートガバナンス(企業統治)への対応に取り組んでいるが、これは性悪説に基づく規律の手段。日本

通常総会

2024年度は「長寿企業に学ぶ持続可能な経営モデルとは?」と題したシンポジウムを九段会館(東京都千代田区)のほか、茨城産業人クラ

長寿企業の経営価値など情報発信

理事には、みよぶ湯の里(大分県別府市)の飯倉里(大阪府東大阪市)、敷島製薬社長、羽生田鉄工所(長野市)(名古屋市中区)、セイコ

会員企業募集 集中
(入会資格は、創業60年以上)

「長寿経営」を理論・体系化し、国内外に発信

100年経営の会

国内には創業100年を超える長寿企業が世界の半数を超える4万社以上あります。当会

は、これら長期持続経営を新たな企業価値として体系化し、国内外に発信するとともに、長期持続経営を実践する企業や、それを目指す企業の交流の場として、日本経済の

原動力となるべく活動しております。

100年経営の会 会長 北畑 隆生
(元経済産業省事務次官)

お問合せ/お申込み先 100年経営の会事務局

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1(日刊工業新聞社内)
TEL:03-5644-7608 E-mail:100nen@media.nikkan.co.jp

勉強会事業
長寿企業の価値の普及活動(シンポジウムの開催・情報発信事業)
100年企業の顕彰事業(経済産業省・中小企業庁との連携)
海外長寿企業・団体との連携